

●第8回全国生産活動・就労支援部会職員研修会全国大会 in 宮城●

9月5日(木)・6日(金)の2日間にわたり仙台市内で開催されました。例年、研修会と同時開催している「全国障がい福祉物産展」は仙台駅構内イベントスペースとアエル通路で開催されました。



研修会の様子

研修会はアエル21回のTKPガーデンシティ仙台で行われ、1日目は社会福祉法人石巻祥心会の鈴木事業部長より、東日本大震災における貴重な体験をふまえ、法人全体で施設機能を地域へ開放できるように準備することの重要性をお話いただきました。続いて、厚生労働省社会・援護局障害福祉部障害福祉課の源河課長から「障害保健福祉施策の動向」についての行政説明がありました。

次に、元農林水産省事務次官・日本農福連携協会の皆川会長理事より「農福連携の取り組みと進行状況」についての講演があり、今後の農福連携の推進に期待が膨らむ内容でした。最後は、社会福祉人江差福祉会の樋口理事長による「街を支える就労支援～工賃平均70,000円の実績とバリアフリーホテルの取組み」の講演でした。樋口理事長の「利用者が誇りと自信を持って働き、暮らし、遊ぶ」という実践に参加者の多くが魅了された様子でした。また、バリアフリーホテルにおけるコンセプトや設備のすばらしさに感銘を受け、宿泊してみたいと感じた参加者も多かったようです。

研修会2日目は、社会福祉法人青葉仁会の榎原理事長をコーディネーターに迎えフォーラムが実施されました。「デザインの視点を取り入れた就労支援」をテーマに「商品デザイン」「農福デザイン」「店舗デザイン」の各発表がありました。参加者にとって、今後の就労支援の在り方について新たな視点と元気をもたらえた発表でした。

最後に、宮城県知的障害者福祉協会生産活動・就労支援部会の白石部会長の閉会挨拶をもって、宮城大会を無事に終了することができました。



宮城県村井知事の祝辞

物産展では、オープニングセレモニーで宮城県知事やご当地キャラクターのむすび丸も参加し大いに盛り上がりました。この場で利用者代表の3名の方が、現在の仕事や将来の夢を発表してくれました。物産展には延べ3,456人のお客様(レジ集計)に障害者の方が作った生産品の数々を購入していただき障害者の方々への理解を深めていただいたと思います。協力いただいた実行委員の皆様本当にありがとうございました。



むすび丸のお出迎え



物産展の様子



●第6回わくわく交流フェスティバル開催●

第6回わくわく交流フェスティバルが10月12日(金)泉のシェルコム仙台で開催されました。平日での開催でしたが、多くの利用者・施設・事業所の方が参加され大いに盛り上がりました。スタッフを含めると400名を超える人数でした。



くじ引きを楽しむ皆さん

スポーツ系ゾーンではパン釣りやストラックアウト、フライングディスク、サッカーPK、ジャンボサイコロ、迷路等、のんびり系ゾーンでは射的、輪投げ、くじ引き等利用者の皆さんは大いに楽しんでいました。販売ゾーンでは各施設から授産製品が出品され大賑わいでした。

午後からは、アーティストライブ



ライブを楽しむ皆さん

が催され、県内在住のアーティストである「及川タカマさん」「水戸真奈美さん」「翼たすくさん」らによる歌とトークショーがあり、今年はこのヒーローで「超本神ダクシオン」も登場し皆さんは大喜びでした。更に楽天



パン釣りを楽しむ皆さん



ダクシオン登場

イーグルスの「チアガール」のダンスに会場内からは大きな歓声がひびきました。



「東北ゴールデンエンジェルス」のダンス

今回の参加賞は「ひざかけ」を皆さんにお配りしました。寒い時などに使っていただければと思います。

第6回わくわく交流フェスティバルを企画・準備されたスタッフ部会の利用者(本人)活動支援の皆さん本当にご苦労様でした。

